

問1 南アジア諸国の宗教 distribution（分布）について述べた文として、正しいものはどれか。ただし、インドはヒンドゥー教徒が多数派であるものとする。（2023年 岩手県公立入試 類似）

1. インドの西側に位置するパキスタンや、東側のバングラデシュでは、イスラム教徒が多数を占めている。
2. インドの北側に位置するネパールは、世界で唯一キリスト教を国教とする国として知られている。
3. 南アジアの島国であるスリランカでは、インドと同様にヒンドゥー教徒が人口の9割を超えている。
4. 南アジア全域において、仏教が最も信仰されている地域は、パキスタンからアフガニスタンにかけての国境地帯である。

問2 アジア大陸の南部に位置し、インドの北側に東西にわたって連なる世界最高峰の山脈について、その特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 標高8000mを超える山々が連なり、世界の屋根とも称されるヒマラヤ山脈である。
2. 南アメリカ大陸の西側に沿って南北に長く伸びる、標高6000m級のアンデス山脈である。
3. 北アメリカ大陸の西側を縦断する、険しい岩山が続くロッキー山脈である。
4. ヨーロッパ大陸の南部に位置し、登山や観光地として知られるアルプス山脈である。

問3 近年のベトナムで見られる、工業化に伴う貿易品目の転換について述べた次の文の空欄（X）と（Y）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。「ベトナムの輸出統計を確認すると、経済成長に合わせて（X）が急増している。また、輸出品目は米などの（Y）から機械類などの工業製品へと変化したことが読み取れる。」（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. X：貿易総額、Y：農産物
2. X：輸入の割合、Y：鉱山資源
3. X：国内総生産、Y：重化学製品
4. X：貿易総額、Y：衣類・繊維製品

問4 1990年代後半以降、中国において大豆の輸入量が急激に増加した主な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）

1. 経済発展に伴い、食肉の生産に必要な飼料や大豆油などの食用油としての需要が高まったため
2. 国内での大豆の生産技術が飛躍的に向上し、加工品を海外へ輸出する量が増えたため
3. 主食である米の消費が減り、その代替品として国内自給率を100%にする政策がとられたため
4. 食生活の欧米化によりパンの消費が増え、小麦の代わりとして大豆の国内生産を制限したため

問5 インドネシアなどの東南アジア諸国で見られる「熱帯雨林の減少」について、その背景にある社会的な要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 先進国などへの輸出を目的としたパーム油の生産や、木材の伐採といった経済開発が進んだため
2. 伝統的な焼畑農業が爆発的に増加し、それ以外の産業が衰退して森林の再生が追いつかなくなったため
3. 砂漠化を防ぐために外来種の植林を優先し、もともとあった熱帯雨林をすべて植え替えたため
4. 冷帯のタイガと同じように、住宅建設用の針葉樹を大量に輸出する政策へと転換したため

問6 中国における1980年から2050年までの年齢別人口構成の推移をまとめた統計において、将来的にその割合が低下し、製造業などにおける労働力不足を招くと懸念されている「15歳から64歳」の人口区分を何と呼びますか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 生産年齢人口
2. 年少人口
3. 老年人口
4. 非労働力人口

問7 ブルネイの経済を分析する際、国際的な原油価格の変動がその国の輸出総額にどのような影響を与えているかを調査することになりました。資料として「原油価格の推移」および「輸出総額の推移」の2つを用意しましたが、その因果関係を裏付けるための3つ目の指標として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2016年 岡山公立入試 類似）

1. 輸出総額に占める原油の割合
2. 輸入総額に占める自動車の割合
3. 原油の輸出先となっている国々の数
4. 国内における総人口の推移

問8 韓国は1980年代から2010年代にかけて急速な経済発展を遂げましたが、この期間における輸出品目の変化について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 衣類などの労働集約的な軽工業品から、機械類や自動車などの重化学工業品へと主力品目が変化した。
2. 鉄鉱石や石炭などの鉱産資源の輸出が中心となり、工業製品の輸出額を大きく上回るようになった。
3. 1980年代には機械類が輸出の50%以上を占めていたが、2010年代には農産物の輸出が中心となった。
4. 伝統的な工芸品や絹織物の輸出を国家戦略の中心とし、安定した経済成長を維持し続けている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 インドの西側に位置するパキスタンや、東側のバングラデシュでは、イスラム教徒が多数を占めている。	南アジアはかつてイギリス領インドとして統治されていましたが、独立の際に宗教的な対立から、ヒन्दウー教徒が多数派のインドと、イスラム教徒が多数派のパキスタン（後のバングラデシュを含む）に分かれた経緯があります。スリランカやブータンでは、仏教徒が多くなっています。
問2	答え 1 標高8000mを超える山々が連なり、世界の屋根とも称されるヒマラヤ山脈である。	アジア大陸とインド亜大陸が衝突し、地殻が押し上げられたことで形成された、世界で最も標高が高い山脈です。インド北部の国境付近を東西に走るこの山脈には、エベレストをはじめとする標高8000m級の高峰が集中しており、周辺地域の気候や文化にも多大な影響を与えています。
問3	答え 1 X：貿易総額、Y：農産物	開発途上国が経済発展を遂げる過程では、一般的に貿易の規模が拡大し、輸出内容が変化します。ベトナムの場合、1980年代と比較して貿易総額が著しく増加しており、その内容は付加価値の低い農産物から、付加価値の高い機械類などの工業製品へと転換しました。これにより、ベトナムは「世界の工場」の一部として国際的な分業体制に組み込まれるようになりました。
問4	答え 1 経済発展に伴い、食肉の生産に必要な飼料や大豆油などの食用油としての需要が高まったため	中国では経済発展に伴って国民の生活水準が向上し、食生活が多様化したことで肉類の消費量が増加しました。これを受けて豚や牛などを育てるための飼料としての需要や、調理に欠かせない大豆油の原料としての需要が急増しました。国内の大豆生産量はわずかな増加にとどまっているため、不足分を補うために輸入量が急激に拡大しています。
問5	答え 1 先進国などへの輸出を目的としたパーム油の生産や、木材の伐採といった経済開発が進んだため	熱帯雨林の減少は、単なる伝統的な焼畑農業だけが原因ではなく、外貨を獲得するための大規模な開発が主因となっています。特に油やしの農園開発や、家具・建材のための木材伐採、さらには鉱山開発などが、国の経済成長を支える一方で環境破壊を招くという、開発と環境保全のジレンマが生じています。
問6	答え 1 生産年齢人口	15歳から64歳までの層は「生産年齢人口」と呼ばれ、社会の経済活動を支える中心的な存在です。中国では長年続いた一人っ子政策などの影響で少子高齢化が進んでおり、この層の人口減少が将来の経済成長を抑制する要因として問題視されています。
問7	答え 1 輸出総額に占める原油の割合	特定の製品の価格変動が国全体の輸出額に与える影響を知るためには、その製品への経済依存度を把握する必要があります。「輸出総額に占める原油の割合」が高いほど、国際的な原油価格の変動が直接的に輸出額の増減に結びつくため、統計を比較する際の重要な根拠となります。自動車の輸入割合や人口推移は、輸出額の変動理由を説明する直接的な指標にはなりません。
問8	答え 1 衣類などの労働集約的な軽工業品から、機械類や自動車などの重化学工業品へと主力品目に変化した。	韓国は1980年代以降、政府主導の輸出志向型工業化を推進しました。初期は賃金の安さを活かした衣類などの軽工業が中心でしたが、教育水準の向上や技術開発への投資により、次第に高度な技術を要する機械類、自動車、半導体といった重化学工業製品が輸出の大部分を占めるまでに成長しました。